

ID No.	1026
研究課題名	IL-12 発現型がん治療ウイルスを用いた悪性黒色腫のウイルス免疫療法開発
研究代表者	奥山 隆平 (信州大学・教授)
研究組織	
受入教員	藤堂 具紀 (東京大学医科学研究所・教授)
研究分担者	古賀 弘志 (信州大学・講師) 松本 和彦 (信州大学・准教授) 五十嵐 隆 (信州大学・教授) 井上 史朗 (信州大学・特任研究員) 田中 実 (東京大学医科学研究所・特任准教授)
研究報告書	
<p>私たちは、ヒト単純ヘルペスウイルスの遺伝子に改変を加えたT-hIL12を、新規の癌治療製品として開発を進めている。医師主導治験を開始することに関して医薬品医療機器総合機構から了解が得られたので、2019年8月に東京大学医科学研究所でプレスリリースを行い、被験者の募集を開始した。治験に関する情報を広く全国に発信するとともに、被験者のスムーズな募集を図るため、信州大学医学部皮膚科と東京大学医科学研究所先端がん治療分野のホームページに治験の概要を記載するとともに、患者・家族ならびに主治医が治験に関して問合せを行うためのフォームも作成した。治験実施のための体制を充実化するため、頻回に意見交換を実施している。</p>	